

## ●道民宿泊促進「ようこそさっぽろキャンペーン」の実施について

札幌市では、東日本大震災以後の旅行控えムードを払拭（ふっしょく）し、札幌観光の需要を喚起していくため、市内宿泊施設や円山動物園、企業などと連携の上、道民向けに宿泊促進キャンペーンとして、「ようこそさっぽろキャンペーン」を実施します。

### 1 キャンペーン名

「ようこそさっぽろキャンペーン」

### 2 キャンペーン期間

平成 23 年 5 月 25 日(水)～7 月 18 日(月・祝)

### 3 キャンペーン概要

道民向けに、5 月下旬から 7 月中旬にかけての札幌観光のお薦め情報と、市内宿泊施設が造成する本キャンペーン限定のお得な宿泊プランをさまざまな媒体を活用して PR することで、道民の札幌に対する観光需要を喚起させ、誘客につなげていく。

### 4 役割分担

#### (1) 市内宿泊施設（53 施設）

キャンペーン限定の宿泊プランを造成

#### (2) 札幌市

宿泊プランと札幌観光のお薦め情報をさまざまな媒体を使って発信

#### (3) 円山動物園、応援企業

造成プランへの協力、PR 等

### 5 造成プラン、参加宿泊施設

円山動物園アメニティグッズ（タオル等）付き応援宿泊プラン	19 施設
道民限定円山動物園プレミアムチケット（入場券、ぬいぐるみ等）付き応援宿泊プラン	26 施設
東日本大震災復興応援宿泊プラン（定山溪・小金湯温泉湯めぐりチケット付きプラン）	15 施設

※東日本大震災に伴う被災地域の動物園や水族館、温泉への義援金付き

### 6 発信していくお薦め観光情報

円山動物園のホッキョクグマの赤ちゃん、各種イベント、札幌駅前通地下歩行空間や創成川公園などの新スポット、定山溪温泉、さっぽろスイーツなど

### 7 想定する発信媒体

新聞、チラシ、雑誌、テレビ、地下歩行空間でのイベント、ホームページ等

## ● 「丘珠空港活性化プログラム」の策定について

札幌市をはじめとした行政機関や北海道エアシステム（HAC）等の関連事業者などで構成される「丘珠空港活性化推進検討会」では、「丘珠空港活性化プログラム」を取りまとめました。同プログラムは、6月1日からHAC路線が丘珠空港に集約されることに合わせ、同空港のさらなる利用を促進するために策定されたものです。

今後は、このプログラムに基づき、関係行政機関や事業者等が連携しながら、丘珠空港の活性化に向けた取り組みを進めていきます。

### 1 丘珠空港活性化推進検討会

#### (1) 構成団体（座長：北星学園大学経済学部教授 鈴木克典）

東京航空局、北海道運輸局、北海道開発局、北海道、札幌市、北海道商工会議所連合会、札幌商工会議所、札幌丘珠空港ビル株式会社、株式会社北海道エアシステム、北都交通株式会社、北海道中央バス株式会社、株式会社 JTB 北海道、狸小路道産食彩協議会、株式会社コスモメディア

#### (2) これまでの取り組み

丘珠空港を拠点とする航空ネットワークの利用促進や有効活用等を推進するための具体的プログラムと、それらを実行するための仕組みづくりについて協議するため、平成 22 年度に 4 回の検討会を実施した。

### 2 「丘珠空港活性化プログラム」の概要

#### (1) 重点的取り組み内容

##### ① 航空利用の拡大

- ・ 丘珠空港路線のビジネス利用の促進
- ・ HAC の就航先地域と連携した新しい観光の開拓・拡大

##### ② 空港のにぎわい創出

- ・ 空港ビルのスペースを活用した「札幌の歴史展示・学習スペース」の開設
- ・ 空港の特長を生かした多彩なイベントの展開
- ・ 遊覧飛行等のプロモーション事業の展開

##### ③ 広報・ソフトの強化

- ・ インターネットを活用した情報発信・案内機能の充実
- ・ 空港連絡バスや地下鉄の利便性の向上

##### ④ 官民協同の推進体制の構築

- ・ 丘珠空港利用促進協議会・空港活性化部会の設置
- ・ 民間との連携・協力によるプロジェクトチームの編成

#### (2) 推進体制

「丘珠空港活性化推進検討会」のメンバーを中心に、空港の活性化を推進するための専門部会を設置し、経済団体、民間企業、学識者等との連携・協力のもと、空港の活性化に取り組む。

問い合わせ先

市民まちづくり局総合交通計画部交通計画課（空港担当） 山根・秋葉

電話：211-2378